

我が家の野鳥



ハンギングポットにとまるシジュウカラ

村上洋一 著

1. シジュウカラ

(1) 2023 年のシジュウカラ

2022 年 7 月に巣箱を 2 つ設置しましたが、巣作りは行われませんでした。



庭に接する電柱に設置した巣箱



パーゴラの上に設置した巣箱

2023 年になって巣箱の位置をベランダの支柱に変更したところ、3 月末に 1 つの巣箱でシジュウカラが巣作りを始めました。



ベランダの柱に設置した 2 つの巣箱

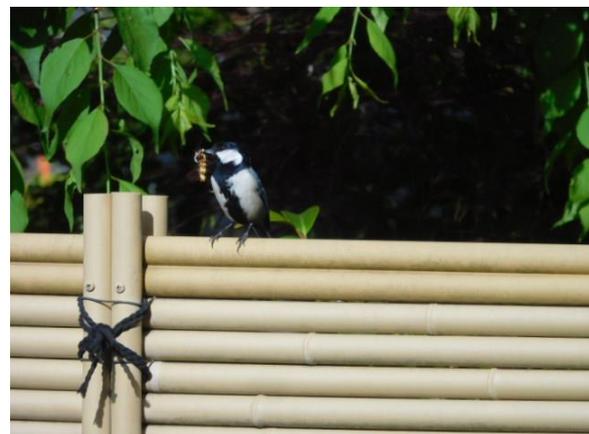


巣作りを始めたシジュウカラ

巣箱に大きな動きが無く心配になったので中を覗いたら、4 羽の子と 3 個の卵がありました。(4 月 29 日)



4 羽の子と 3 個の卵



餌を運んでくる親

親が餌をくわえて飛んできて巣箱に入ります。餌を与えると子が鳴き声をあげます。餌をやり終わると、子の糞(白い綿のような物)と卵の殻をくわえて巣箱から出ます。(5月7日)



餌をくわえ巣箱に入ろうとする親



餌を与えた後、子の糞をくわえ
巣箱から出る親

朝から親が来なく巣箱から子の鳴き声が聞こえないので、昨日巣立ちしたと思います。(5月15日)

巣箱を開けると中は空で、子のシジュウカラは巣立っていました。巣箱の中の巣を捨て水で洗い、また元の位置に取り付けました。(5月19日)



巣立った後の空の巣

<補足> (出典:インターネット)

シジュウカラの子が大きくなった頃、スズメが頻繁に巣箱周辺に来るようになってシジュウカラと争っています。スズメも巣箱で繁殖する習性があるので、シジュウカラの巣箱の乗っ取りを図っています。

シジュウカラの巣箱の出入り口の直径は28mmで、直径が30mm必要な雀は入ることができないので、巣を乗っ取られることはないそうです。

(2) 2024 年のシジュウカラ

昨年に引き続きつがいのシジュウカラがやって来て、ベランダの柱に取り付けた巣箱で抱卵を始めました。つがいは雄と思われる尾の長いシジュウカラと雌と思われる尾の短いシジュウカラです(5月30日)



つがいのシジュウカラ



餌を運んでくる尾の長いシジュウカラ



餌を運んでくる尾の短いシジュウカラ

卵が羽化したようで2羽の親が餌を取ってきて、頻りに巣箱に出入りします。(6月16日)
羽化して間もないころは子が小さいので、親は巣箱の中に入って餌を与えます。子がある程度大きくなると親は全身が巣箱の中に入れないので、尾を巣箱の外に残した状態で子に餌を与えます。子がさらに大きくなると、親は巣箱の中に入れず頭だけ巣箱に入れて子に餌を与えます。



長い尾を巣箱の外に出したまま
子に餌を与えます。



頭だけ巣箱に入れ
子に餌を与えます。

子の巣立ちの前日、子が巣箱の穴から顔を出し一声鳴きました。翌日(6月30日)、巣立ちの瞬間は目撃できませんでしたが、巣立った6羽の子が巣箱の周囲にいました。子はまだ体が小さく、くちばしは黄色なので子のシジュウカラと判別できます。



巣箱の穴から顔を出した子
(この写真は、神奈川新聞に投稿し掲載されました。2024.7.10)



巣立って電線にとまる子



巣立った後の巣箱の内部



約3cmの厚みの平らな形状の巣、
巣の材料はコケ、動物の体毛などです。

2. その他の野鳥

ウッドデッキの手すりの上にスズメの餌を置いたら、毎日多くのスズメがやって来るようになりました。(スズメはシジュウカラを攻撃するので、2023年からは餌を置いていません。)



餌をついばむ5羽のスズメ



パーゴラの上で待機するスズメ

その他メジロ、野バト、ヤマガラもやってきます。



ミカンを食べに来るメジロ



2羽の野バト

3. 隣家の野鳥

(1) ツバメ(2014年)

我が家の東側の隣家の玄関ポーチにツバメが巣を作り、子育てをしました。2015年以降ツバメの巣作りは行われていません。



巣作りをする親ツバメ



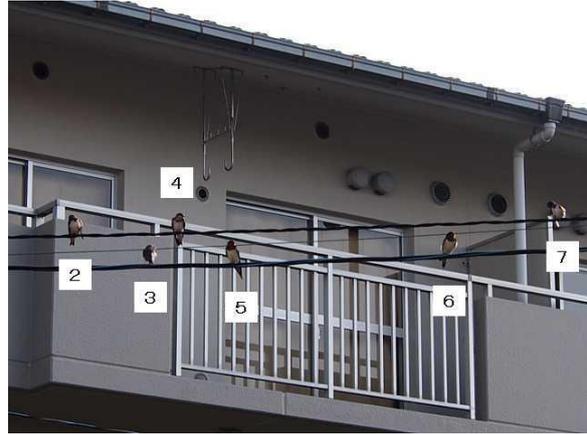
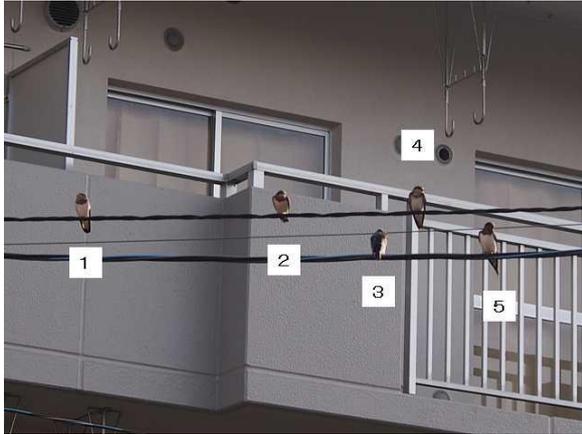
出来上がった巣



巣立ち前の子ども



巣立ちを促す2羽の親



電線にとまる、巣立った5羽の子どもと2羽の親(1~7)

(2) メジロ(2022年)

我が家の西側の隣家の立木にメジロがやって来て、お隣さんがあげたリンゴを食べています。



左はリンゴをつつくメジロ、右は順番待ちのメジロ



リンゴをつつくメジロ



カメラ目線のメジロ
(この写真は、神奈川新聞に投稿し
掲載されました。2022.3.5)

(3) 近所のお宅のシジュウカラ(2021年)

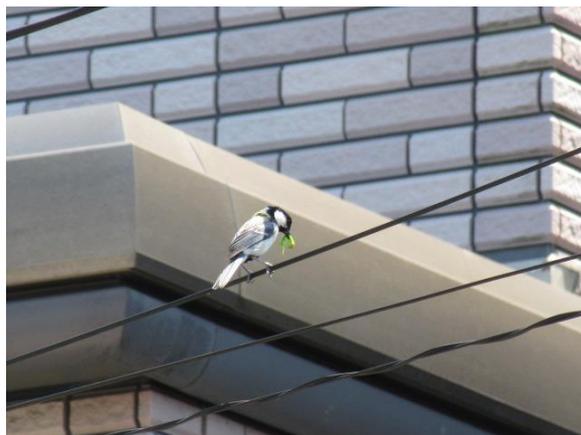
我が家の南東側のお宅の電気メーターボックス内に、シジュウカラが巣を作り雛が産まれました。2羽の親がせつせと餌を運んできます。子の姿は見えませんが、チッチチッチと鳴く鳴き声が聞こえます。しばらく経って子は巣立っていきました。

メーターボックス内に巣があることは危険ということで、巣立った後電力会社の方が巣を取り除きシジュウカラが中に入れないように周囲の隙間をテープで封じました。

このシジュウカラの巣作りにより、シジュウカラは住宅街でも巣作りをすることを知り、2022年に我が家の庭に巣箱を2個設置(P1参照)しました。



右側の中に巣があります。



青虫を運んできた親



親が中に入ろうとしています。



現在のメーターボックス

2024.7.10 記